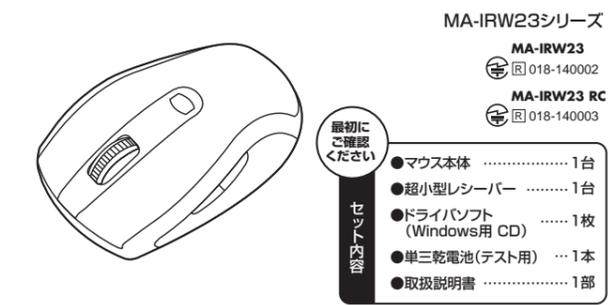


# SANWA SUPPLY ワイヤレス縦横スクロールマウス 取扱説明書



本取扱説明書の内容は、予告なしに変更になる場合があります。最新の情報は、弊社WEBサイト(<http://www.sanwa.co.jp/>)をご覧ください。

デザイン及び仕様については改良のため予告なしに変更することがございます。本書に記載の社名及び製品名は各社の商標又は登録商標です。

サンワサプライ株式会社

## 目次

- はじめに
- 健康に関する注意
- 警告
- 対応機種・対応OS
- 接続手順
- 特長
- 各部の名称とはたらき
- マウスの準備 (電池の入れ方)
- 本製品をUSBポートに接続する際の注意
- Windows 7またはWindows 8.1・8/パソコン使用時に、マウスを接続してもしばらく認識しない場合の対処法について
- レシーバーを接続
- ドライバをインストールする前にお読みください
- 付属のドライバソフトをインストール
- ドライバソフトの特長
- 「故障かな…」と思ったら
- 保証規定

## 1.はじめに

この度は、ワイヤレス縦横スクロールマウス(以降「本製品」といいます)をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。本製品をご使用前にこの取扱説明書をよくお読みください。また、お手元に置き、いつでも確認できるようにしておいてください。

## 2.健康に関する注意

マウスやトラックボール、キーボードを長時間操作すると、手や腕や首、肩などに負担が掛かり痛みや痺れを感じる場合があります。そのまま操作を繰り返していると、場合によっては深刻な障害を引き起こす恐れがあります。マウスやキーボードを操作中に身体に痛みや痺れを感じたら、直ちに操作を中止し、場合によっては医師に相談してください。また日常のパソコン操作では定期的に休憩を取り、手や腕や首、肩など身体に負担が掛からないように心がけてください。

## 3.警告

**■テレビ・ラジオの受信障害について**  
本製品は、FCCの定めるクラスBのパソコン機器に対する許容条件につき、所定の審査の上、FCC-15章の規定内容に適合するものとして認定されています。FCC-15章は居住環境において防止すべき受信障害の規制基準を定めたものですが、装置の設置状況によっては受信障害が発生する場合があります。ご使用のパソコンシステムが受信障害の原因となっているかどうかは、そのシステムの電源を切ることで確認いただけます。電源を切ることで受信障害が解消されれば、ご利用のパソコン、あるいは、その周辺装置が原因であると考えられます。ご使用のパソコンシステムがテレビやラジオの受信状態に影響している場合、以下の手順のいずれか、あるいはいくつかを組合わせてお試しください。  
●テレビまたはラジオのアンテナの向きを変え、受信障害の発生しない位置を探してみてください。  
●テレビまたはラジオから離れた場所にパソコンを配置し直してください。  
●テレビまたはラジオとは別の電源供給路にあるコンセントにパソコンを接続してください。  
●状況に応じ、テレビ・ラジオの修理業者またはマウスの販売店にもご相談いただけます。

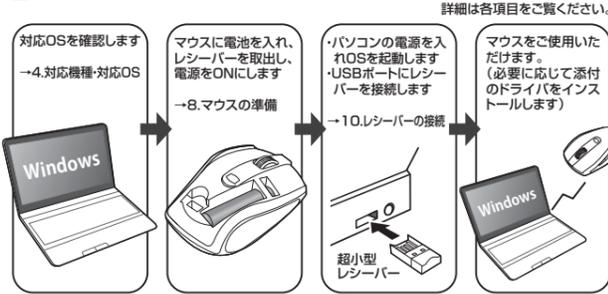
**■注意**  
本製品に対し許可しない変更または加工が加えられた場合、FCCの許可が無効となり、正規の製品としての使用は認められませんのでご注意ください。

## 4.対応機種・対応OS

**■対応機種**  
●Windows搭載(DOS/V)/パソコン  
※USBポート(Aタイプコネクタ)を持つ機種。

**■対応OS**  
●Windows 8.1・8・7・Vista・XP・2000  
※機種により対応できないものもあります。  
※この文章中に表記されるその他すべての製品名などは、それぞれのメーカーの登録商標、商標です。

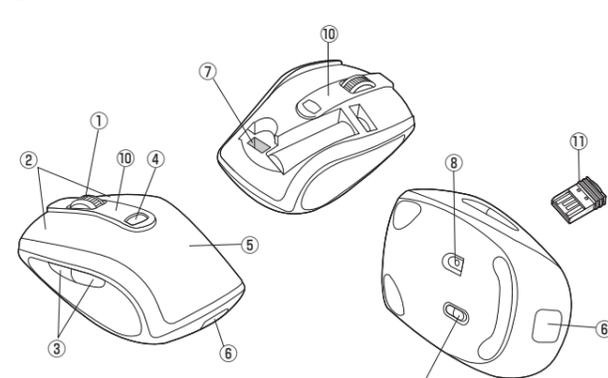
## 5.接続手順



## 6.特長

本製品は2.4GHz RF方式のワイヤレスマウスですので、入力操作の際ケーブルが邪魔になるといった煩わしさもなく、快適な環境でのパソコン操作が可能となります。本製品は、ホイールを指で倒すだけで左右にもスクロールでき、エクセルなどで縦・横に長い表組がカーソル移動なしで閲覧できます。また本製品はIR赤外線読み取りセンサーを搭載しており、低消費エネルギーでできる省電力設定で単三乾電池1本で約4ヶ月間電池交換不要で使用できます。※ご使用前にこの取扱説明書をよくお読みください。また、お手元に置き、いつでも確認できるようにしておいてください。

## 7.各部の名称とはたらき



①ホイール(スクロール)ボタン ..... インターネットやWindows上のドキュメント画面をスクロールさせる際、このホイールを前後に回転させて上下スクロールを可能にします。また、ホイールを指で倒すだけで左右にスクロールできます。

■スクロールモード ..... インターネットやWindows上のドキュメント画面でスクロールモードを使用する際、このボタンをクリックしマウスを前後左右に少し動かすと自動的に画面がスクロールします。このスクロールを止めるには、ホイールボタンをもう一度押してください。

■ズーム ..... ズームはMicrosoft IntelliMouseの通常機能ですので、MS-OFFICE用のアプリケーションに対応しています。「ズーム」とはウィンドウ内の倍率を変えることです。「Ctrl」キーを押しながらホイールを回転させると、ズームが簡単に行えます。  
●「Ctrl」キーを押しながらホイールをモニター方向に回転させると、倍率が上がります。  
●「Ctrl」キーを押しながらホイールを手前方向に回転させると、倍率が下がります。

②左ボタン/右ボタン ..... 左ボタンは通常クリック、ダブルクリックに使われます。また右ボタンはWindowsでのアプリケーションごとに設定されているマウスの動きも行いますし、またポップアップメニューの表示も行うことができます。

③戻るボタン/進むボタン ..... Webブラウザで「戻る/進む」の操作がスピーディーに行えます。

④カウント切替ボタン ..... カウント切替ボタンを押すと、カーソルスピード(分解能)を1000→1500→2000カウントに切替えることができます。

⑤電池カバー ..... このカバーを取外して、電池を入れます。  
⑥電池カバー取外しボタン ..... このボタンを押して、電池カバーのロックを解除します。

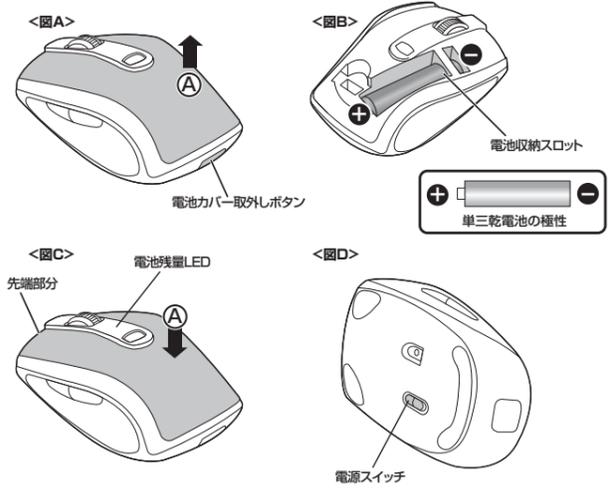
⑦レシーバー収納スロット ..... 電池カバーを取外して、レシーバーを収納することができます。  
⑧IRセンサー ..... 光沢感のあるデスク面でもマウスパッドなしでスムーズな操作感を実現します。  
※IRセンサー穴をずっと見たり、他人の目に向けないでください。

⑨電源スイッチ ..... マウス本体の電源をON-OFFします。  
⑩電池残量LED ..... 電池が入った状態で電源スイッチをONにした際、電池残量LEDがしばらくの間点滅し、電源がONになったことを表示します。マウスを操作中にLEDが点滅を続けた際は電池が少なくなっていますので、すみやかに電池を交換してください。

⑪超小型レシーバー ..... 13.1×18mmの超小型レシーバーなので、ノートパソコンに装着した際の出っ張りわずか8mm。装着したままの保管や持ち運びにも邪魔になりません。

## 8.マウスの準備(電池の入れ方)

- マウス後部の電池カバー取外しボタンを押して、電池カバーのロックを解除します。  
(A)部分を指で上方方向に持ち上げて、電池カバーを外します。<図A>
- 付属の単三乾電池を電池収納スロットに入れます。  
※正しい極性で入れてください。<図B>
- 電池カバーを付ける際は、まず(A)部分からマウスにはめ込み、(A)部分を指で押さながらボタン部分(先端部分)をはめ込みます。<図C>
- 電源スイッチをONにすると、電池残量LEDがしばらくの間点滅します。<図C・図D>  
※マウスを動かしている際、カーソルの動きがスムーズでなくなったり電池残量LEDが点滅しはじめたら、電池をすみやかに交換してください。電池交換の際は、電源スイッチをOFFの状態で行ってください。交換用電池は、新品の単三乾電池をご使用ください。(付属の電池は、テスト用ですので、電池寿命は短くなります)  
※空になった電池をマウス本体内に置いておくとも液れの原因になりますので、取出しておいてください。



## 9.本製品をUSBポート接続する際の注意

本製品はWindowsにおいて自動認識され、使用可能となります。まず初めにUSBインターフェースが正常に動作しているかどうかをチェックしてください。

### <Windows 8.1・8の場合>

#### タッチパネル操作の場合

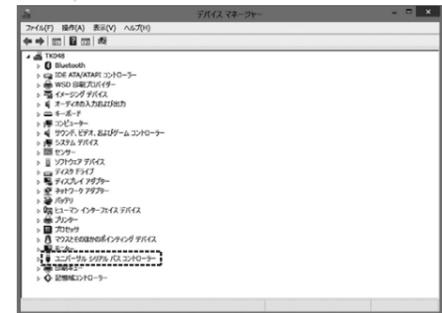
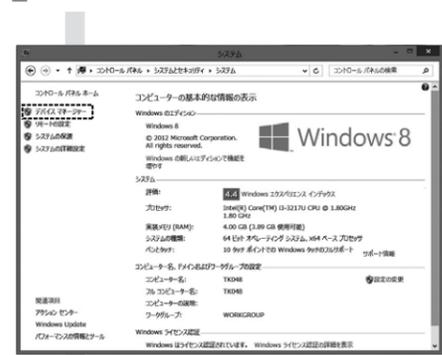
「スタート画面(modern UI)」を開く→「メニューバー」(画面底辺の外から、指一本で画面内に向けてゆっくり指をスライドさせる)→「全てのアプリ」→「コントロールパネル」→「システムとセキュリティ」→「システム」内のデバイスマネージャ

#### マウス(タッチパッド)操作の場合

「スタート画面(modern UI)」を開く→「スタート」メニュー内の何もないところで右クリック→下に表示される「メニューバー」内の「全てのアプリ」→「コントロールパネル」→「システムとセキュリティ」→「システム」内のデバイスマネージャ



## 9.本製品をUSBポート接続する際の注意(続き)



これはUSBインターフェースの正常な動作状況です。USBデバイスアイコンに「！」マークが表示されていたり、または「ユニバーサルシリアルバスコントローラ」のデバイスがなにも見つからない場合、マザーボードのBIOSをアップグレードしたり、BIOS設定を確認してください。一部の機種ではデフォルトの状態ではUSBポートの使用が不可に設定されています。また「ユニバーサルシリアルバスコントローラ」のベンダー名、デバイス名はマザーボードによって異なることがあります。インテル社以外の記述の際もありますので、本体(マザーボード)メーカーにサポートしてもらってください。

### <Windows 7・Vista・XP・2000の場合>

「スタート」→「設定(S)」→「コントロールパネル(C)」→「システム」の順に選択し、「デバイスマネージャ」タブをクリックしてください。「ユニバーサルシリアルバスコントローラ」をチェックしてください。下の画面が表示されます。



これはUSBインターフェースの正常な動作状況です。USBデバイスアイコンに「！」マークが表示されていたり、または「ユニバーサルシリアルバスコントローラ」のデバイスがなにも見つからない場合、マザーボードのBIOSをアップグレードしたり、BIOS設定を確認してください。一部の機種ではデフォルトの状態ではUSBポートの使用が不可に設定されています。また「ユニバーサルシリアルバスコントローラ」のベンダー名、デバイス名はマザーボードによって異なることがあります。インテル社以外の記述の際もありますので、本体(マザーボード)メーカーにサポートしてもらってください。

## ■BIOS上でUSBがdisableディセーブル(無効)になっている場合

●BIOS上のUSBをenableイネーブル(有効)にしてください。  
通常BIOSの設定はパソコン起動時にF1かF2を押すものが多いですが詳細な設定については、パソコン本体の取扱説明書をご覧ください。

